

**日野市在宅療養体制構築のための基本方針 の進捗状況（令和 5 年度実績）【補足資料】**

- 令和 6 年度からは「第 5 期 日野市高齢者福祉総合計画」へ統合し進捗を管理します。
- ・令和元年～6 年までの 6 年間の計画期間の 5 年目
- ・6 つの施策の方向性と 31 の施策項目（左端数字が各方向性の施策項目の番号）

**・施策の方向性 1 「医療機関の特徴や相談窓口の見える化」**

概ね達成

- 1 在宅療養ガイドブック等を活用した啓発活動（地域包括支援センター、図書館等市関係窓口等で無料配布）
- 2 在宅療養ガイドブック、動画等を活用した周知活動（サロン等での視聴、図書館での在宅療養コーナー設置、市民窓口・七生支所等でデジタルサイネージによる相談窓口の紹介）
- 4 企業協賛によるエンディングノート作成無料配布、ACP の周知啓発、ホームページ掲載

**・施策の方向性 2 「患者やその家族の精神的・肉体的な負担軽減体制」**

概ね達成

- 1 スーパーバイザーによる事例検討会開催（年 5 回延べ 103 人の参加）（事例に合わせた助言者依頼）
- 2 市立病院の一時入院支援事業稼働率の向上。市立病院、地域包括支援センター、ケアマネージャーによる情報交換会実施（年 1 回）

**・施策の方向性 3 「患者を中心とした関係機関の意識と情報の共有化」**

概ね達成

- 1 多職種による在宅高齢者療養推進協議会検討部会での協議継続（年 4 回）
- 2 MCS（メディカルケアステーション）の活用促進に向けた取組支援（医療と介護の連携推進勉強会での周知等）
- 4 市立病院主催による外来看護師と地域をつなぐ勉強会の実施（年 10 回）

**・施策の方向性 4 「在宅療養環境のバランスを考慮したコーディネート」**

概ね達成

- 3 多職種による医療と介護の連携推進勉強会開催（年 4 回）顔の見える関係性を構築
- 4 地域ケア会議開催（年 14 回）関係多職種と地域課題等について意見交換を実施
- 5 第 3 回ひの在宅医療・介護サービスフェアをイオンホールで開催し、専門職毎の相談ブースを設置

**・施策の方向性 5 「退院・退所時に安心できる相談支援体制の整備」**

概ね達成

- 1 市立病院患者総合支援室と定期的に連絡会を開催し、在宅療養支援窓口等に係る連携体制の整備
- 2 南多摩 5 市在宅療養相談窓口連絡会（年 2 回開催）MCS グループの導入活用促進
- 3 事案ごとに高齢福祉課職員、地域包括支援センター職員、関係多職種と連携し、相談支援対応等を実施

**・施策の方向性 6 「在宅療養の利用状況等のデータ集積」**

一部達成

- 1 医療と介護の連携推進勉強会及び在宅医療・介護フェア等事業実施時にアンケート実施
- 3 介護現場の人材不足を受けて、民間企業から AI 技術を用いた見守り介護ロボットの活用を情報提供

【全体統括】 令和元年～6 年まで本基本指針に則って進行して参りましたが、全体として概ね達成したと評価しております。については本計画を令和 5 年度末で終結し、今後は「第 5 期 日野市高齢者福祉総合計画」へ引継ぎ進捗を管理します。詳細は【資料 1 - ②③④⑤⑥⑦】をご参照ください。